

鼻からの胃カメラ検査を受けられる方に(同意書)

【胃カメラ検査とは】

食道・胃・十二指腸の病気(ポリープ、炎症、がん)の診断をするために不可欠な検査です。最近ではポリープや早期癌に対する診断・治療技術が著しく進歩しています。今回、内視鏡検査をおすすめいたしますので、以下のことを十分ご理解いただいたうえで、検査をお受けください。

【検査の内容について】

検査の準備のために胃の泡を消す薬、喉の麻酔をする薬、消化管の動きを抑える注射などをします。そのため、眼がぼやけたり、気分が悪くなったり、ドキドキしたり口が渇くことがあります。数時間でおさまります。内視鏡が口から入り喉を通るときに違和感が生じますが、徐々に軽くなります。内視鏡より空気を送り胃などを膨らませて観察をするためお腹が張ってきます。通常の場合、検査は10分くらいですが、場合によりもう少しかかることもあります。

また、検査でなんらかの病変が認められた場合には、組織を採取し検査をします。

【検査の安全性・起こりうる合併症】

胃カメラ検査は安全な検査です。ただし検査による合併症が全くないわけではありません。全国集計などによると1500-2000 件に1件くらいの頻度で合併症が認められます。具体的には出血・裂傷・薬剤アレルギー・持病の悪化などです。症状が重い場合には緊急入院・緊急手術を含めた治療が必要になることがあります。また心臓や脳血管などの病気のため血液を固まりにくくする薬を内服中の方などでは細胞検査のための少量の組織採取でさえ出血が続く可能性がありますので、薬をしばらく休む必要があります。当院では、検査を受けられる皆様に、この検査とそれによって得られる診断・治療上の利益、および稀に発生する合併症とその処置について、よくご理解いただきたく思います。

【代替可能な検査】

食道、胃、十二指腸の検査は、上述の内視鏡検査以外に、バリウムなどの造影剤を用いた上部消化管X線検査(いわゆる胃透視)があります。しかし、X線検査では異常を認めた場合に生検(上述)を行うことができません。

【検査の同意を撤回する場合】

いったん同意書を提出しても、検査が開始されるまでは、検査をやめることができます。やめる場合はその旨を下記までご連絡願います。

同 意 書

私は 経鼻内視鏡検査の目的と方法・危険性について医師の説明および上記の記載事項を十分理解いたしました。ひうらクリニックで経鼻内視鏡検査を受けることに同意します。この説明により、予定される検査および関連事項についてよく理解できましたので、検査の実施を申し込みます。

平成 年 月 日

患者氏名 _____

印 _____

ご家族氏名 _____

印 _____